

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立不動寺小学校

①児童アンケート

(1) 英語科(小学校5年生:令和8年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	8.3	16.7	58.3	16.7	0.0
問2	英語科の勉強は大切だ。	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
問3	英語科の授業の内容が分かる。	16.7	50.0	25.0	8.3	0.0
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	8.3	41.7	41.7	8.3	0.0
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	8.3	50.0	33.3	8.3	0.0
問6	アルファベットの大文字が書ける。	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0
問7	アルファベットの小文字が書ける。	66.7	25.0	8.3	0.0	0.0
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	41.7	41.7	16.7	0.0	0.0
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0

(2) デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	50.6	31.7	17.7	0.0	0.0
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	57.0	25.3	15.2	1.3	1.3
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	57.0	20.3	19.0	2.5	1.3

②指導改善の具体策

【英語科】 ・「英語の勉強が好きだ」の肯定的評価は低く、記述アンケートでは「何を言っているかわからない」という記述があった。英語に親しみながらコミュニケーション能力を育てるという小学校英語科のねらいを大切にするために、「まちがえてもいい」「伝えることが大切」ということを繰り返し伝えながら楽しい雰囲気づくりにつなげていく。また、児童が安心して学ぶことができるよう、学習履歴やイラスト等で大まかな意味を確かめる場の設定を行っていく。 ・「英語科の勉強は大切だ」と考えている児童は多く、記述アンケートでは多くの児童が授業以外で英語を使う機会があったことを答えていた。英語を使う目的意識をこれからも児童が感じていけるよう、単元デザインを工夫していく。 【デジタル科】 ・1学期のアンケートからは大きな改善が見られている。授業でタブレット端末を使用する際、児童がデジタル機器の良さと自らの学びの成果・成長を実感できるよう価値付けを続けていく。

③学校関係者評価

・「英語科の勉強が好きだ」という項目の肯定的評価が低いことは改善する必要がある。好きであるからこそ意欲が高まり、知識・技能の習得につながる。英語の楽しさと成長を感じられるような授業づくりを、「英語が好き」と言える児童数を指標に評価・改善を行っていくとよい。 ・英語の学習が好きかどうかは、児童の自己肯定感の高さにも関連している。他教科でも「わかった」「できた」の実感を大切にすることや、生活面において教職員からの価値付けや児童の相互評価等を通して、学校生活全般に肯定的な思いをもつことができるようにするとよい。
--